

ナブテスコ株式会社 様

現場から全社DXを推進！作業日報アプリで脱アナログと働き方改革を実現 基幹システムとのデータ連携で集計も自動化、ペーパーレス化や残業時間削減に貢献

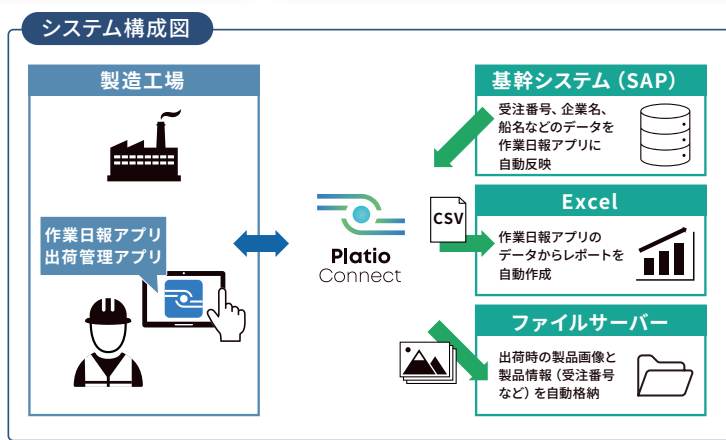
様々な機器を「うごかす、とめる」技術の中核にビジネスを展開しているナブテスコ。同社は全社をあげてDXを推進すべく、各現場にタブレットを導入。現場のITリテラシー向上と業務のデジタル化および効率化に向けた現場のDXに取り組んでいる。同社では、DX推進部が船舶の製造部門と連携し、紙の作業日報や出荷前画像の管理といった非効率な業務に着目。現場と相性の良いPlatioで作業日報アプリや出荷管理アプリを作成し、基幹システムや社内サーバーとデータ連携することで、現場の業務負担を削減、効率的な現場データ収集と管理を実現している。

課題・目的	選定ポイント	効果
<ul style="list-style-type: none"> 現場のITリテラシー向上とDX成功事例を積み上げ、現場主導でDXに取り組める体制を作りたい 紙の日報は項目が多く記入やデータ化、集計が大変。受注番号などの記入ミスも発生 出荷前に製品画像をデジカメで撮影、手作業でデータ移動やファイル管理しており検索もしくい 業務終わりに作業日報を作成するため実績の記録が曖昧。業務実態に誤差が発生し、最適な作業見積りが困難 	<ul style="list-style-type: none"> 100種類以上のテンプレートが用意されており、ノーコードで簡単にアプリ作成が可能 誰でも直感的にアプリが作れるUIで、現場メンバーによる内製開発が期待できる 作成したアプリと多様なシステムとのデータ連携をノーコードで対応可能 アプリ作成権限も柔軟に管理できるため、各現場部門への展開が容易 	<ul style="list-style-type: none"> 年間200時間を超える業務削減と2,400枚のペーパーレス化に成功 基幹システムとデータ連携し、受注番号など項目の約半数を自動反映。入力の手間と記入ミスを削減 作業日報アプリから自動作成したExcelのレポートや製品画像を社内サーバーに自動で保管。データ集計・管理業務を効率化 作業実績が現場で適宜手軽に記録でき、情報の正確性が向上。最適な作業見積りや人員配置の実現、残業時間の削減に貢献



作業日報アプリは、約半数の項目が自動入力や選択式で入力の手間を削減

QRコードを読み取るだけで受注番号や船舶情報を自動入力



基幹システムや社内サーバーとアプリをデータ連携し、業務の自動化・効率化を推進

ユーザーのひと言



現場のDXの礎を築くために、とにかく現場が手軽に簡単に使える点を重視して比較検討を行った結果、Platioを採用しました。製造現場でのPlatio導入成果は、社内で全社DXの足がかりとして注目され、既に他部門でも運転前アルコール検査、固定資産管理の棚卸、設備点検などでアプリ活用による業務改善が行われています。今後は全社の現場部門が自らアプリを作成し、現場のDXを推進できるよう支援体制を整えていきます。

ナブテスコ株式会社 イノベーション戦略室 DX推進部 小川 光夫 氏

User Profile

Nabtesco®

所在地：東京都千代田区平河町2丁目7番9号

従業員数：単体：2,390人(2022年12月末)
連結：7,928人(2022年12月末)

会社概要：液体・空圧制御技術を持つナブコと切削・組立加工技術を持つ帝人製機が統合して誕生。両社から受け継ぐ技術基盤・事業の拡大を進め、モーションコントロール技術の中核とした事業を展開している。

URL：https://www.nabtesco.com/